

(別記様式1号)

第 号
年 月 日

栃木県教育委員会教育長 様

栃木県立

学校長

登山の承認申請について

このことについて、下記の計画により実施したいので、承認くださるよう願います。

記

1 行事等名

2 目 的

3 場 所

4 期 日

5 日程ルート

日程	月/日	主な行程、山行ルート、予定時刻、利用交通機関、宿泊地(幕営、山小屋の別)
第一日目	/	
第二日目	/	
第三日目	/	
第四日目	/	
第五日目	/	

〔付記〕 (1) 日程は2泊3日を標準に、長くとも4泊5日（予備日を含む）を限度とする。

(2)  電車、 車、 全装行動、 サブ行動で記入。

6 引率者、参加生徒

別添「参加者一覧」のとおり

7 装備計画

(1)全装行動

①共同装備

項目	品名	数量	備考	項目	品名	数量	備考	項目	品名	数量	備考
幕 営 用 具	テント(ペグを含む)			炊 事 用 具	コッヘル			そ の 他	ラジオ		
	テントマット				しゃもじ・おたま				天気図用紙		
	ツェルト				たわし				医薬品等		
	ランタン				まな板セット				熱中症計		
					ガスバーナー				修理具一式		
					ガスボンベ				裁縫用具		
					水用ポリタンク				トランシーバー (予備電池を含む)		
									衛星携帯電話 (予備電池を含む)		
									カメラ		
									ロープ(長:50m程度)		
									ロープ(短:20m程度)		
									スリング(長:120cm程度)		
									スリング(短:60cm程度)		
									カラビナ(環付)		
									カラビナ(環なし)		
									ロール紙・ちり紙		
									ビニール袋		

※その他、山行の目的や形態、内容等に応じ必要な装備を記入すること。

②個人装備

項目	品名	数量	備考	項目	品名	数量	備考	項目	品名	数量	備考
着 用 装 備	ジャケット (アウターレイヤー)			携 行 装 備	シュラフ			携 行 装 備	健康保険証		
	登山用パンツ				マット				靴ひも		
	ロングスリーブシャツ (長袖シャツ)				水筒				細引き		
	セーター、フリース等				食器				ちり紙		
	下着				はし				個人医薬品		
	靴下				手ぬぐい・タオル				ホイッスル		
	登山靴				洗面具一式				スリング(長:120cm程度)		
	帽子				スマートフォン (予備電池を含む)				スリング(短:60cm程度)		
	防風・防水・防寒用上着				ライター又はマッチ				カラビナ(環付)		
	レインウェア				ナイフ				カラビナ(環なし)		
	メインザック				時計				トレッキングポール		
	サブザック				地図				レスキューシート		
	グローブ(軍手)				コンパス						
	冬用手袋				筆記具						
	ヘッドランプ (予備電池・予備電球を含む)				計画書						
	登山スバッツ (登山ゲイター)				安全登山ハンドブック						
	サングラス										
	ヘルメット										

※その他、山行の目的や形態、内容等に応じ必要な装備を記入すること。

7 装備計画(その2)

(1)サブ行動・日帰り

①共同装備

項目	品名	数量	備考	項目	品名	数量	備考	項目	品名	数量	備考
幕 営 用 具	ツェルト			炊 事 用 具	コッヘル			そ の 他	ラジオ		
					しゃもじ・おたま				天気図用紙		
					たわし				医薬品等		
					まな板セット				熱中症計		
					ガスバーナー				修理具一式		
					ガスボンベ				裁縫用具		
					水用ポリタンク				トランシーバー (予備電池を含む)		
									衛星携帯電話 (予備電池を含む)		
									カメラ		
									ロープ(長:50m程度)		
									ロープ(短:20m程度)		
									スリング(長:120cm程度)		
									スリング(短:60cm程度)		
									カラビナ(環付)		
									カラビナ(環なし)		
									ロール紙・ちり紙		
									ビニール袋		

※その他、山行の目的や形態、内容等に応じ必要な装備を記入すること。

②個人装備

項目	品名	数量	備考	項目	品名	数量	備考	項目	品名	数量	備考
着 用 装 備	ジャケット (アウターレイヤー)			携 行 装 備	水筒			携 行 装 備	健康保険証		
	登山用パンツ				食器				靴ひも		
	ロングスリーブシャツ (長袖シャツ)				はし				細引き		
	セーター、フリース等				手ぬぐい・タオル				ちり紙		
	下着				スマートフォン (予備電池を含む)				個人医薬品		
	靴下				ライター又はマッチ				ホイッスル		
	登山靴				ナイフ				スリング(長:120cm程度)		
	運動靴				時計				スリング(短:60cm程度)		
	帽子				地図				カラビナ(環付)		
	防風・防水・防寒用上着				コンパス				カラビナ(環なし)		
	レインウェア				筆記具				トレッキングポール		
	サブザック				計画書				レスキューシート		
	グローブ(軍手)				安全登山ハンドブック						
	冬用手袋										
	ヘッドランプ (予備電池・予備電球を含む)										
	登山スパッツ (登山ゲイター)										
	サングラス										
	ヘルメット										

※その他、山行の目的や形態、内容等に応じ必要な装備を記入すること。

7 装備計画(その3)

(1)学校行事における日帰り集団登山

①共同装備

項目	品名	数量	備考	項目	品名	数量	備考	項目	品名	数量	備考
幕 営 用 具				炊 事 用 具				そ の 他	ラジオ		
									医薬品等		
									熱中症計		
									修理具一式		
									裁縫用具		
									トランシーバー (予備電池を含む)		
									衛星携帯電話 (予備電池を含む)		
									カメラ		
									ロープ(長:50m程度)		
									ロープ(短:20m程度)		
									スリング(長:120cm程度)		
									スリング(短:60cm程度)		
									カラビナ(環付)		
									カラビナ(環なし)		
									ロール紙・ちり紙		
									ビニール袋		

※その他、山行の目的や形態、内容等に応じ必要な装備を記入すること。

②個人装備

項目	品名	数量	備考	項目	品名	数量	備考	項目	品名	数量	備考
着 用 装 備	ロングスリーブシャツ (長袖シャツ)			携 行 装 備	水筒			携 行 装 備	健康保険証		
	セーター、フリース等				食器				ちり紙		
	体操着またはジャージ 上下				はし				個人医薬品		
	下着				手ぬぐい・タオル				ホイッスル		引率者のみ
	靴下				スマートフォン (予備電池を含む)				レスキューシート		
	登山靴				時計		引率者のみ				
	運動靴				地図、マップ		引率者は地形 図を用意				
	帽子				コンパス		引率者のみ				
	防風・防水・防寒用上着				筆記具						
	レインウェア				計画書						
	サブザック				安全登山ハンドブック		引率者のみ				
	グローブ(軍手)										
	冬用手袋										
	ヘッドランプ (予備電池・予備電球を含む)		引率者のみ								
	ヘルメット										

※その他、山行の目的や形態、内容等に応じ必要な装備を記入すること。

8 食糧計画

項目 月/日	朝 食		昼 食 ・ 行 動 食		夕 食	
	品 名	数 量	品 名	数 量	品 名	数 量
/						
/						
/						
/						
予 備 日						
非常食 1人当 たり	品 名	数 量				

9 事前トレーニングの計画・内容

10 事故防止及び救急対策

(1) 荒天対策

(2) 事故防止対策

(3) 救急対策

(4) 熱中症対策

11 緊急時の連絡体制

別添「緊急時対応フローチャート」のとおり

12 緊急時の連絡先

別添「参加者一覧」のとおり ※緊急時連絡先を必ず記載すること

13 概念図（または、ルート図）

別添概念図（または、ルート図）のとおり

14 保護者への事前説明及び承諾

（注）実施計画（別記様式1）は電子データを学校安全課宛て提出のこと。

参加者一覧

【学校または管理者 ※緊急時の連絡先を記載すること】		学校名
昼		
夜		

【引率者】

No.	氏名	引率 責任者	職名	登山指導 経験年数	指導員 資格	講習履歴	計画ルート 登山歴	過去における登山歴(登山回数)	住所	<<緊急時連絡先>> 携帯電話番号等
1										
2										
3										

【登山アドバイザー】

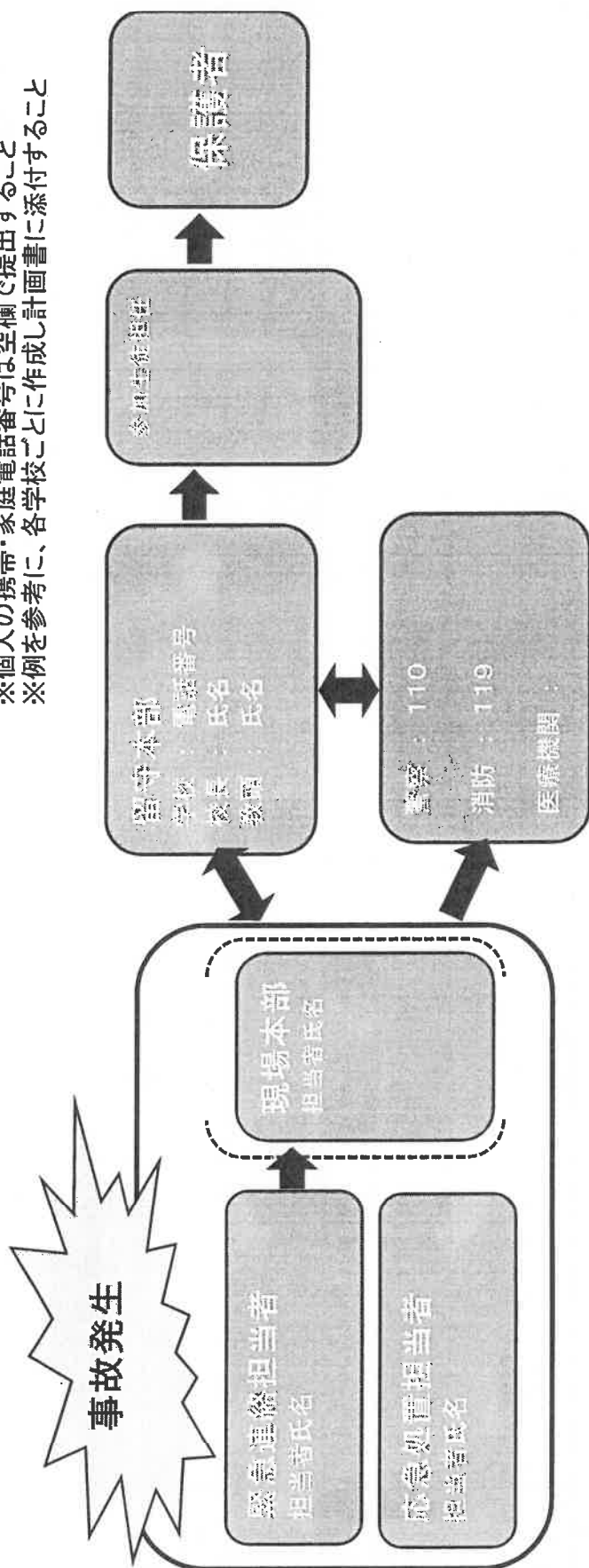
No.	氏名	所属	資格等	主な山歴(年月、山名等)	住所	<<緊急時連絡先>> 携帯電話番号等
1						
2						

【参加生徒】

No.	氏名	年・組	健康状況	血液型	過去における主な山行	住所	<<緊急時連絡先>> 携帯電話番号等
1							
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							

緊急時の対応フローチャート

※個人の携帯・家庭電話番号は空欄で提出すること
 ※例を参考に、各学校ごとに作成し計画書に添付すること



地元病院

● 病院名
 ● 電話番号

管理小屋・地元タクシー会社等

● 名称・会社名
 ● 電話番号

登山計画書提出先

● 提出先・提出方法

(別記様式 2 号)

第 号
年 月 日

栃木県教育委員会教育長 様

栃木県立 学校長

〇〇〇〇登山計画の変更承認申請について

年 月 日付け学安第 号で承認いただきました〇〇〇〇登山計画について、下記のとおり計画内容を一部変更したいので、承認くださるよう願います。

記

1 変更内容

2 変更理由

※ 変更後の計画内容が分かるように、計画書を添付すること。

(別記様式 3 号)

第 号
年 月 日

栃木県教育委員会教育長 様

栃木県立 学校長

〇〇〇〇登山計画の中止について

年 月 日付け学安第 号で承認いただきました〇〇〇〇登山計画について、下記の理由により中止しましたので報告します。

記

1 中止理由

(別記様式 4 号)

登山報告書

第 号
年 月 日

栃木県教育委員会教育長 様

栃木県立 学校長

年 月 日付け学安第 号で承認いただきました〇〇〇〇登山を実施しましたので、下記について別表のとおり報告します。

記

- 1 行事名
- 2 実施山域
- 3 実施日
- 4 参加生徒数
- 5 引率者
- 6 登山アドバイザー（帯同人数、資格、要件）
- 7 天候
- 8 ルート及び通過時刻、特に配慮した点等の特記事項
- 9 ヒヤリハット事例（実施後の反省会で各校での検証をもとに記載する。）
 - (1) 具体的内容（いつ、どこで、どのようなことがあったかを具体的に明記する。）
 - (2) 背景要因
 - (3) 改善策

【別表】

学校名	行事名	実施山域	実施日	日数	参加生徒数	引率者
高等学校		(所在市町村名)	～		名	名 (氏名)
ルート及び通過時刻			登山アドバイザー帯同			天候(上段)
			人数	資格	要件	積雪量(下段)
特に配慮した点等の特記事項						
ヒヤリハット事例						
具体的内容						
背景要因						
改善策						

登山の実施結果について(〇月〇日～〇月〇日実施分)

No	学校名	行事名	実施日 (始期)	日数	参加 生徒数	引率者	ルート及び通過時間	登山アドバイザー—期間—			実施上の 留意事項等		特に配慮した点の対応事項	具体的な内容		改善案	ヒヤリハット事例	関係者の助言
								人数	実施	案件	補足事項等	実施の内容		改善案				

中止となった登山計画

No	学校名	行事名	実施日 (始期)	日数	参加 生徒数	引率者	ルート及び通過時間	登山アドバイザー—期間—			実施結果	備考
								人数	実施	案件		
												【中止の理由】

※記載内容は全て実施時の内容

登山当日 安全確認チェックリスト

期 日:

記載者名:

	チェック	確 認 項 目	確認した内容の記入欄	引率者が特に注意すること
天候		天候の確認をしたか(目視)		雲の様子を観察したりAMラジオやスマートフォン等で状況を確認すること。
		気象に関する注意報や警報が出ているか確認したか(気象庁HPなど)		
生徒		生徒の健康状態を把握したか		睡眠不足等は熱中症の原因になり得るので注意すること。
		生徒に出発時刻を告げたか		予定時刻からの遅れは、1日の行動予定に影響し雷等にあう危険が増すので、しっかりとスケジュール管理をすること。
		生徒が朝食を食べたか(食欲)確認したか		熱中症の原因になり得るので、よく観察すること。
		生徒に地形図上で危険箇所、次の休憩場所の確認は行ったか		休憩ごとに人員の確認をすること。危険箇所の通過に際しては必ず注意を促すこと。
装備		計画書にのっとり、装備のチェックを行ったか、飲料水は十分な量を準備したか		水分の不足は熱中症の原因。概ね一人2L。雨具、防寒具は晴天時も必ず携行すること。
		通信用器具(トランシーバー、無線、携帯電話)の作動確認したか		通信用機器はしっかり防水すること。
危険回避		地形図上でエスケープルートや避難小屋・山荘の位置確認をしたか		地図の防水も確認する。ザックに入れている生徒は出させること。
		天候急変時の行動をどのようにするかメンバー間で確認したか		落雷の危険がある場合は山小屋または窪地等に避難して、雷雲の通過を待つなど対応を確認すること。
		メンバー間での連絡体制は確認したか		人数が多い場合は班を決め、班ごとの点呼を徹底すること。
報告		学校(校長・教頭)へは、本日の行動予定、現在の生徒の健康状態を報告したか	(時 分報告)	予備日の使用等については、事前に保護者、参加者、管理職と確認し承認を得ること。